



冷媒管理システムRaMS

Refrigerant Management System

RaMS管理代行

【 充填回収業者 】



一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

RaMS管理代行の方法

1. 機器所有者（管理者）の課題
2. 管理業務代行者として提案
3. 管理業務代行の流れ～事業所登録
事業所登録①
事業所登録②
4. 管理業務代行の流れ～機器登録
機器登録①
機器登録②
5. 管理業務代行の流れ～簡易点検
簡易点検①
簡易点検②
簡易点検③
6. 管理業務代行の流れ～定期点検
定期点検①
定期点検②
7. 管理業務代行の流れ～行程管理票(廃棄)
行程管理票起票（機器の廃棄）①
行程管理票起票（機器の廃棄）②
行程管理票起票（機器の廃棄）③
行程管理票起票（機器の廃棄）④
8. 管理業務代行の流れ～行程管理票(処理業者)
行程管理票起票（処理業者）

1. 管理者の課題

◆フロン排出抑制法を遵守するための管理業務の増加

1. 管理担当者の選任(管理体制の構築)
2. 管理すべき使用機器(第一種特定製品)のリスト作成
3. 点検整備記録簿(ログブック)の作成と整備の記録、保存
4. 機器の適切な設置と適正な使用環境の維持
5. 簡易点検(全ての機器、3ヶ月に1回以上)と定期点検(7.5kW以上の機器)の実施
6. 漏えい時における適切な対処(繰り返し充填の禁止)
7. 機器廃棄時のフロン回収(行程管理票による廃棄処理)
8. 算定漏えい量の算出と国への報告(1,000t-CO₂以上の場合)

とても管理ができない・・・、
「フロン排出抑制法」を遵守
できない・・・
まあ、いいかそんなに厳し
くないだろう・・・



これは法令違反です、罰則があります！

企業の信頼感を
失いかねません！

◆冷凍空調機器をとりまとめる管理担当者の悩み

●事業所の総務、施設担当者

1. 担当者はいるが、冷凍空調機器だけの専任はおらず他の業務で手一杯
2. 機器毎に設備業者が異なる為、充填証明書・回収証明書も書面でバラバラで紙での保存・管理が負担
3. 算定漏えい量の計算に時間が掛かって大きな負担
4. マクロを組んでExcelで計算はしたが、機器を入れ換えたり担当者が変わったら翌年度はできるか不安
5. ISO14001を取得しているけど、「フロン排出抑制法」遵守のエビデンスはどうしたらよいだろうか！！

●地場のスーパーの店長

1. 日々の業務があり、冷凍空調機器のフォローなどできない
2. 本社にまかせている

2. 管理業務代行者として提案

事業所（管理者）の管理業務（委託契約）をRaMSで簡単管理

● 委託を受けた事業所・スーパーの管理代行者として、RaMSに事業所登録

- 1) 対象となる使用機器をリストアップし、RaMSに点検整備記録簿を作成(ログブック登録)
- 2) 他の充填回収業者が行った整備内容も管理代行者としてRaMSのログブックに記録・保存
- 3) 保守委託契約のひとつとしてログブック登録機器の簡易点検業務を実施
- 4) 定期点検機器もサポート、他の業者が設置した機器の点検時期などフォロー

● RaMS利用ならではのメリット

- 1) 機器の設置から簡易点検、定期点検のサポート、算定漏えい量の算出、廃棄時の処理まで法律で必要とされる機器の管理業務を電子的に一括管理できる
- 2) 充填証明書、回収証明書はもとより管理者が法的に管理・保存すべき書面(行程管理票A、E票含)は全て電子的な保存で法的に担保されるので、紙での保存・管理は一切不要
- 3) 国の指定した唯一の情報処理センター機能を有し、データの機密保持、保存も安全、安心
- 4) ISO14001(環境マネジメントシステム)の維持管理も容易
- 5) データの登録作業は履歴やプルダウンメニューの活用で負担を軽減
- 6) 少ない費用で運用、管理可能
- 7) 担当者が代わっても引継ぎが容易
- 8) 管理業務の代行者として、事業者(管理者)と緊密な関係の構築が可能

3. 事業所登録① 【充填回収業者】

STEP1 RaMSに事業者登録

● 充填回収業者登録

- 1) 管理代行者となる充填回収業者は、自社を充填回収業者としてまず登録
- 2) 整備・点検登録など伝票起票のためのポイントを用意する(支払い方法を決める)

● 管理者登録(委託代行として)

★管理者とRaMSを利用してフロン管理を代行する委託契約を結んだ上で、管理者として登録

*** 管理者と事業所登録したID、パスワードを共有しておくことが望ましい**

- 1) 管理者の法定管理者(本社)の名称・住所
- 2) 施設管理者(事業所)の名称・住所
- 3) 機器管理従業者の名前(管理代行担当者)
- 4) 管理代行担当者のE-mail
- 5) ログブックの購入、更新などのポイントを用意する(支払い方法を決める)

STEP2 RaMSに機器登録(ログブック作成)

● 管理者の冷凍空調機器

- 1) 管理者の事業所の冷凍空調機器のリストアップ
- 2) ログブックの準備

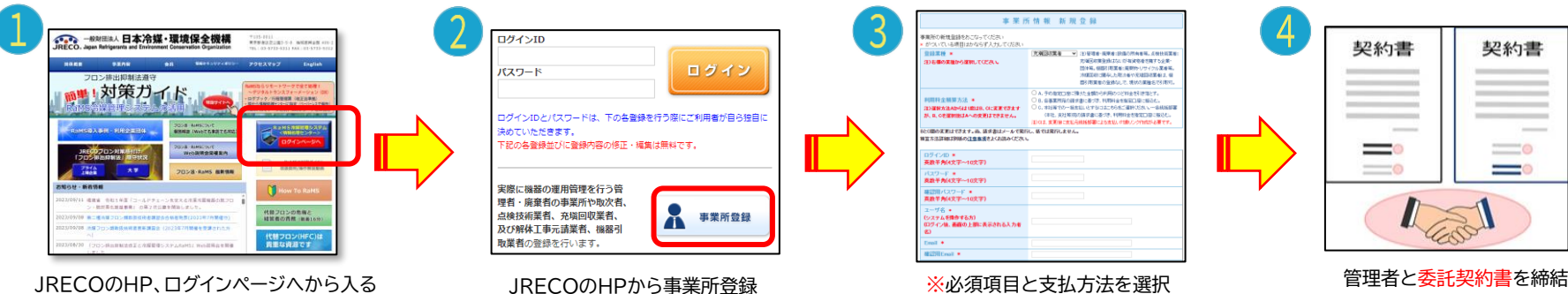
● ログブックへの機器登録

- 1) 管理者の機器を確認して、充填回収業者としてログブック登録
- 2) 整備に応じて、充填量、回収量、定期点検、簡易点検を記入

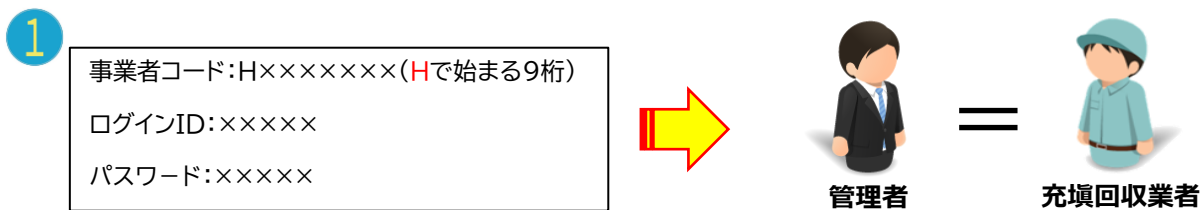
3. 事業所登録② 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

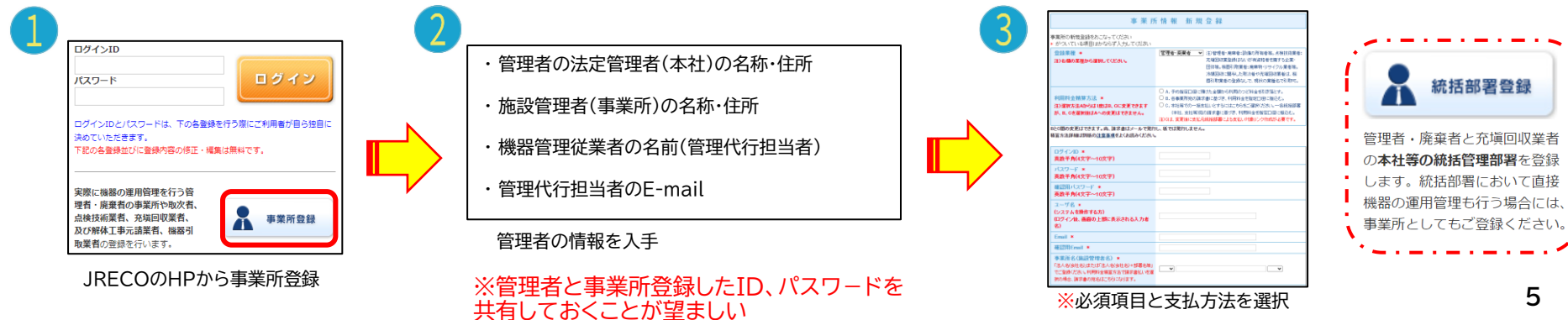
1. RaMSへ充填回収業者として登録し、機器所有者(管理者)と**管理業務代行委託契約書**を締結



2. 管理者が既に**RaMSを利用済み**の場合、登録していますHで始まる事業者コードとログインID・Passを共有



3. 管理者が**RaMSを未利用**の場合、管理者の代わりに事業所登録(管理者・廃棄者)をします
(複数事業所がある場合は各事業所ごとに事業所登録をし、それらを統括管理する統括管理部署を登録してリンクを形成します)



4. 新規機器登録①【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【管理者代行として機器を登録する場合】

1. 機器登録準備として管理者が所有する機器のリストアップ

1

NO.	事業所名	メーカ名	機器名称	型式	フロン種	初期充填量	設置年月日	...
1	東京営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2022/5/22	...
2	東京営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2022/5/22	...
3	東京営業所	三洋電機	冷凍冷蔵庫	M98999	R23	2	2022/9/1	...
4	大阪営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2020/12/1	...
5	大阪営業所	日立	ビルマル	H543-M	R32	1	2021/4/1	...
6	福岡営業所	ダイキン	エアコン	D12123	R32	1	2023/6/6	...



管理者



管理者
(代行)

=



充填回収業者

管理者から機器リストを入手

2. RaMSに機器を登録するには、充填回収業者でログイン

※管理者でも機器の登録は可能ですが、設置時追加充填量の入力を充填回収業者で行いますので、最初から充填回収業者でログインをお勧めします。

1

事業者コード: R××××××××(Rで始まる9桁)
ログインID: ××××××
パスワード: ××××××

登録した充填回収業者でログインの場合

2

ID・パスワードを入力してログイン

3

メインメニュー画面

3. 管理者から入手した機器リストの情報をログブックに登録していきます

1

ログブック新規作成をクリック

2

機器管理番号がない場合

3

管理者から入手した機器情報を登録していきます

注意)冷媒種は登録後の修正変更はできません

『機器の一括登録』
ログブックへの機器の登録は、一台ごとの登録となります。

複数台一括登録の場合は代行入力サービス(別途費用)をご利用できます。
JRECO担当までご相談ください。

4. 機器新規登録②【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ) 【管理者代行として機器を登録する場合】

4. 設置時追加充填量の入力処理をして、機器の登録完了

1

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

※実施記録が1表の履歴記録と相違するとエラーとなります。
一旦回収して作業後にその漏洩を再発見した場合は「追加充填量」に記入して下さい。
【備考・異常・停電】は「回収量」のみ記入し、発生した時点で自動計算されます。発生後の行程管理が自動作成されます。(無料)
※点検や整備後点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」としてください。
定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検記録も記入して下さい。記入しないと次回期限が表示されません。

作業年月日	点検・整備区分	充填・冷凍	回収量 kg	戻し充填量 kg	追加充填量 kg	破壊・再生・保管量 kg	点検内容	点検結果
入力日の日付を記入	設置時追加充填量							
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容	直ちに修理困難な場合はその理由			修理予定日		
備考								
作業請負者社名		所在地		作業担当者		資格者証番号		
ジェイレコ充填回収 東京都		〒103-0000 東京都中央区新橋7-7						
登録番号	登録都道府県	E-mail	代表電話					
tokyo012345	東京都	tokyo@test.com	03-0022-0011					
<input type="radio"/> 整備者1あり <input checked="" type="radio"/> 整備者1なし ... 整備者とは整備を請負った取次者を指す。登録するには取次者としての事業者コードが必要。								
実施作業は2表の内容に相違ありません。				作業請負者責任者確認		管理者承認		
一覧へ戻る				確認画面へ		一時保存		

「2.漏洩点検・整備・回収・充填記録」の「点検・整備区分」にある設置時追加充填量の入力処理が終了すると、整備・定期点検の入力が可能になります



3

点検・整備記録簿機器一覧

機器管理番号	状態	最終更新日	次回簡易点検期限	操作
FLFN-U7EX-53A4	利用可能 (承認待ち)	2024-03-25	【初回未登録】 【次回定期点検期限】	登録・修正 閲覧 簡易点検

充填回収業者の機器一覧には承認待ちと表示されます

5. 管理者でログインし、機器の登録承認をしましょう

1

ログインID

パスワード

ログイン

管理者のID・パスワードを入力してログイン

管理者 (代行)

3

管理者承諾

管理者として承諾処理

2

点検・整備記録簿機器一覧

No	最終入力日	機器管理番号	状態	製品施設都道府県	最終更新日	次回簡易点検期限	操作
1	2024-03-25	FLFN-U7EX-53A4	利用可能 (承認待ち)	東京都	2024-03-25	【初回未登録】 【次回定期点検期限】	閲覧 簡易点検 パス設定 転記 1表最新版 開鎖

管理者の機器一覧に赤字で承認待ちと表示されていますので、閲覧から承認行為を行ってください

4

点検・整備記録簿機器一覧

機器管理番号	状態
FLFN-U7EX-53A4	利用可能

機器一覧の状態が利用可能に変化

5. 簡易点検① 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 充填回収業者でログイン 簡易点検業務は3カ月に1回実施しましょう

簡易点検は、どなたがやってもかまいません、毎月実施でもかまいません

1

事業者コード: R××××××××(Rで始まる9桁)
ログインID: ××××××
パスワード: ××××××

登録した充填回収業者でログイン

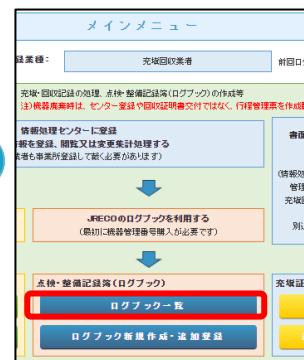
2

ログインID
パスワード

ログイン

ID・パスワードを入力してログイン

3



メイン画面から
ログブッカー一覧を選択

4

● 点検・整備記録簿機器一覧						
No	最終 入力日	機器管理番号	状態	製品施設 都道府県	最終 更新日	操作
1	2024-02-02	KPMG-P8WC-SVDX	利用可能	東京都	2024-05-08	登録・修正 閲覧 簡易点検

ログブッカー一覧から該当機器を探しましょう

5

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
2024-05-08	2024-06-30	登録・修正 閲覧 簡易点検
	2027-06-30	

操作から簡易点検を選択します

簡易点検 ワンポイント

点検時期の表示: ☒表示 ☐非表示

「表示」を選択すると次回簡易点検と次回定期点検の実施期限日を表示し、且つ日付の文字色は黒から下記のように変わります。
(簡易点検で常時監視システムを利用している場合は、「常時監視中」と表示します。)

簡易点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して3か月後の月末日)の15日前で**緑色**、過ぎると**赤色**
定期点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して1年後または3年後の月末日)の30日前で**緑色**、過ぎると**赤色**
但し、前回点検記録が未登録の場合は「初回未登録」と表示します。

なお定期点検期限は、ログブックの1表における圧縮機定格動力が7.5kW未満の機器では「対象外」、同欄が空欄の場合は「未記入」と表示します。

● 点検・整備記録簿機器一覧

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
2024-05-08	2024-06-30	登録・修正 閲覧 簡易点検
	2027-06-30	

簡易点検15日前を過ぎると**緑色**に変化

● 点検・整備記録簿機器一覧

最終 更新日	次回簡易 点検期限	操作
2024-05-08	2023-11-30	登録・修正 閲覧 簡易点検
	2027-06-30	

簡易点検期日を過ぎると**赤色**に変化

5. 簡易点検②【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

2. 簡易点検内容を入力

2表に簡易点検した内容を入力していきますが、デフォルトの点検項目以外にオリジナル項目の作成ができます

冷暖房点検・整備記録簿 2019年2月14日 ~ ----年--月--日

注意: 冷暖房の点検・回収作業は、第一種フロン充填回収業務の知識を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要で、
※付いている簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。

機器管理番号 N01W+SD6A-U72N

最終更新: 2024-03-18

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報

※管理者がログインすると、1. 簡易点検履歴が自動入力されます。また、施設・製品情報が自動入力されます。また、施設・製品情報が自動入力されます。

施設管理者 日本ラウス 東京(管理1) 〒105-0011 東京都港区芝公園111	事業者 コード H152552501	法定管理者 《会社名》 名・住所 日本ラウス 〒105-0011 東京都港区芝公園11111
施設名称 MSW	系統名 実験室K	設備製造者 手書き入力 TD電機
施設住所 〒640-8686 住所検索 和歌山県 住所1 和歌山市手平 住所2	分類 ビル用パッケージエアコン	用途 空調用
代表電話	製造番号 12345678	型式 PAR-33399
機器管理 担当者 若山 寛利	同左電話	圧縮機の駆動 機の定格出力 kW 10.9
E-mail kanri@test.com	追加連絡E-Mail	使用 冷媒 R22
備考 機器の備考欄		充填量 kg 20.00

【1表】

施設管理者情報
機器情報が確認
できます

2. 簡易点検記録

※簡易点検は定期点検と兼ねて実施できますが、簡易点検の記録は定期点検記録とは別で作成していただきます。
(本簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。)
※簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。
※簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。
※簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。
※簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。
※簡易点検表は、簡易点検表として使用してはならず、あくまでも記録用として使用するものとします。
※簡易点検表は、簡易点検表として使用してはらず、あくまでも記録用として使用するものとします。

作業年月日*	簡易点検フォーマット*	点検者*
入力日の日付を記入	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	

1. 室外機の異常振動・異常運転音状況 ☐ チェック コメント:
2. 室外機及び周辺の油のじみ ☐ チェック コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など ☐ チェック コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無 ☐ チェック コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油のじみなど ☐ チェック コメント:
6. 漏えい兆候 なし コメント:
7. 気付き事項 コメント:

☐ 常時監視システム利用

【2表】

簡易点検内容を
入力します

3. 簡易点検履歴

※点検に記入された内容が自動入力されます。

状況	伝票番号	作業年月日	簡易点検フォーマット	操作
完了	S0001	2021-07-01	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧
完了	S0002	2021-12-17	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 印刷
完了	S0003	2022-03-17	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 印刷
完了	S0004	2022-10-28	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 印刷
完了	S0005	2022-12-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 印刷
完了	S0006	2022-12-21	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 印刷
完了	S0007	2023-03-06	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 印刷
完了	S0007	2023-06-15	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧

【3表】

簡易点検の履歴
を確認できます

簡易点検 ワンポイント

作業年月日* 簡易点検フォーマット*

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン

入力日の日付を記入

1. 室外機の異常振動・異常運転音状況 ☐ チェック コメント:
2. 室外機及び周辺の油のじみ ☐ チェック コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など ☐ チェック コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無 ☐ チェック コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油のじみなど ☐ チェック コメント:
6. 漏えい兆候 なし コメント:
7. 気付き事項 コメント:

デフォルトでエアコンや冷凍冷蔵庫の簡易点検項目を選択できますが、貴社オリジナルの内容で簡易点検を行う場合は、オリジナルフォーマットで簡易点検を行う事ができます。

簡易点検フォーマット*

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン

ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン
大型冷凍機
ショーケース・業務用冷凍冷蔵庫
冷凍冷蔵庫
その他

作業年月日* 簡易点検フォーマット*

その他

入力日の日付を記入

1. ☐ チェック コメント:
2. ☐ チェック コメント:
3. ☐ チェック コメント:
4. ☐ チェック コメント:
5. ☐ チェック コメント:
6. ☐ チェック コメント:
7. ☐ チェック コメント:
8. ☐ チェック コメント:
9. ☐ チェック コメント:
10. ☐ チェック コメント:
11. 漏えい兆候 なし コメント:
12. 気付き事項 コメント:

2

簡易点検を登録しますか？
日付の入力を確認してください。「OK」ボタンを押すと、変更・取り消しは出来ません。
「OK」ボタンを押すことにより、〇〇〇(管理者名)に対して、簡易点検記録の入力が登録されたことを通知します。

OK キャンセル

簡易点検内容を登録後、管理者へ点検内容の通知が送付されます



管理者へ点検内容
メールがいきます



管理者
(代行)

5. 簡易点検③【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

3. 簡易点検内容を入力 一括入力

同じ種類の機器であれば、簡易点検の入力を一括で30台まで行う事ができます

点検・整備記録簿機器一覧

点検時刻の表示: ☒表示 ☐非表示 ☐切替

「表示」を選択すると次回簡易点検と次回定期点検の実施期限日を表示し、且つ日付の文字色は黒から下記の様に変わります。
(簡易点検で常時監視システムを利用している場合は、「常時監視中」と表示します。)

簡易点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して初月後の月末日)の15日前で緑色、過ぎると赤色
定期点検: 期限(前回点検日の翌月1日から起算して1年後または3年後の月末日)の30日前で緑色、過ぎると赤色
(但し、前回点検記録が未登録の場合は「初回未登録」と表示します。)

なお定期点検期限は、ログブックの1表における圧縮機定格動力が7.5kW未満の機器で「対象外」、同値が空欄の場合は「未記入」と表示します。

複数簡易点検記録一括登録

簡易点検記録簿

作業年月日: 2024-05-08 簡易点検フォーマット: ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン 点検者名: 〇〇〇

入力日の日付を記入

1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
2. 室外機及び周辺の油のにじみ	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油にじみなど	<input type="checkbox"/> チェック	コメント:
6. 漏えい兆候	<input type="checkbox"/> なし	コメント:
7. 気付き事項		コメント:

簡易点検内容を入力します

系統名	製品施設	最終更新日	次回簡易点検期限	一括登録対象	操作
1号館	東京都	2025-10-20	2025-09-30	<input type="checkbox"/>	1表最新版 簡易点検最新版
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-02-27	2027-08-31	<input type="checkbox"/>	1表最新版 【初回未登録】
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-02-27	2027-08-31	<input type="checkbox"/>	1表最新版 【初回未登録】
東京営業所	埼玉県	2023-05-22	2023-06-30	<input type="checkbox"/>	1表最新版 簡易点検最新版
ビル用パッケージエアコン	埼玉県		【初回未登録】	<input type="checkbox"/>	1表最新版 【初回未登録】
ビル用パッケージエアコン	東京都	2025-06-25	【初回未登録】	<input type="checkbox"/>	1表最新版 【初回未登録】

ログブック一覧にあります、一括登録対象のチェックボックスに該当する機器のチェックをいれてください

簡易点検を一括登録しますか？

OK

キャンセル

管理者へ点検内容
メールがいきます

管理者
(代行)

一括登録の最終確認後、管理者へ点検内容の通知が送られます

6. 定期点検① 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 定期点検業務は機器の定格出力により、1年または3年ごと実施しましょう

エアコンは圧縮機の定格出力7.5kw以上50kw未満は3年に一回以上の定期点検、圧縮機の定格出力50kw以上は1年に一回以上の定期点検
冷蔵・冷凍機器は圧縮機の定格出力7.5kw以上は1年に一回以上の定期点検

2. 充填回収業者でログインし、ログブック一覧から定期点検機器を探し出す

※機器登録を管理者でログインして登録した場合は、管理者でログインし、該当機器の機器管理番号をメモします。次に充填回収業者でログインして、機器を追加登録する必要があります。



6. 定期点検②【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 定期点検の入力

点検整備をした内容を入力していきますが、簡易点検と違い一括入力などは行えません

冷媒漏洩点検・整備記録簿 2020年1月17日 ~ ----年--月--日

注意1: 冷媒の充填・回収作業は、第一種圧入/真空回収作業の知識を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要です。
注意2: *が付けられている項目は必ず入力してください。なお、使用冷媒は登録後の変更はできません。
注意3: 廃止廃棄の場合は必ず廃止への登録が必要です。代わりに行政管理者を登録し、廃止・廃棄管理番号を入力してください。
注意4: 前年度点検履歴を再入力した場合は、一覽画面で問題発生をしてお知らせし、管理番号の転用、再利用はできません。

機器管理番号 ARUF-LWTF-36KV
初回登録日: 2020-08-19
最終登録: 2021-10-27
最終更新: 2024-04-24
次回定期点検履歴: 2024-07-31
次回定期点検履歴: 2024-06-30

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報

施設管理者 日守グループ 兵庫(管理) 千650-1002 兵庫県神戸市中央区北長町777	事業者 コード H02205970	施設管理者 名・住所 日本ガス式 千105-0011 東京都港区芝公園11111
施設名称 メノテックビル 会社情報から取得	系統名 IF3系統	設備製造者 手書き入力
施設住所 〒650-1002 住所検索 (住所1)神戸市中央区北長町777 (住所2)	分類 分譲用パッケージエアコン	設置年月日 2020-1-17
代表電話	用途 (空調用)	製造番号 TDFAC3-00123
機器管理 証番号 887 寛利	同左電話	型式 TDFAC404
E-mail karr7@estcom		圧縮機の駆動 電圧の定格出力 kW 18
備考		使用 冷媒 R410A GWP: 1920
		出庫時初期 充填量 kg 20.00

機器廃棄の場合は本記録簿への登録は不要です。代わりに行政管理者を登録し、最終に機器管理番号を入力してください。

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

※冷媒の充填・回収作業は、第一種圧入/真空回収作業の知識を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要です。
※一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した場合は「戻し充填量」に、新たな冷媒を充填した場合は「追加充填量」に記入して下さい。
※「戻し・再生・保管量」は「回収量」から「戻し充填量」を引いた差で、自動計算されます。追加冷媒が以前に追加された冷媒と同等と見なされ、処理履歴が自動作成されます。(備考)
※定期点検や整備後点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」としてください。
※定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検記録も記入して下さい。記入しない次回記録が表示されません。

作業年月日 入力日の日付を記入	点検・整備区分 R410A	充填冷媒	回収量 kg	戻し充填 量 kg	追加充填 量 kg	備考・再生・ 保管量 kg	点検内容	点検結果
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容	直ちに修理困難な場合はその理由	修理予定日				
備考								
作業請負者社名 ジェイコ充填回収 兵庫県	所在地 〒103-0000 東京都中央区虹橋7-7	作業担当者 登録番号	資格者証番号					
登録番号 hyogo012845	登録郵便番号 登録住所	E-mail kaiyu@estcom	代表電話 03-0022-0011					

○ 簡易点検(可) ○ 整備記録(可) ※整備記録とは整備を請求した数値を指す。登録する際は数値としての事業者コードが必要です。
実施作業は2表の内容に相違ありません。 作業員責任者確認: 管理者承認:

一覧へ戻る 確認画面へ 一時保存

3. 冷媒の充填・回収状況

一覽画面に表示すると自動計算されます。【初期補充容量】は出荷時初期補充容量と設置時追加補充容量の合計で、【合計回収量】には含まれません。
【合計補充量】は【合計回収量】の逆です。

充填冷媒	(参考) 漏洩化係数	初期補充容量 kg	合計回収量 kg	合計補充容量 kg	合計回収量 kg	抽出量CO2 トン
---	---	---	---	---	---	---

4. 点検・整備・充填・回収履歴

一覽画面に記入された内容が自動記録されます。但し作業員責任者情報は表示されません。充填量、戻し・再生・追加補充の合計量です。冷媒に関する累計結果は右表に表示されます。

状態	伝票 番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg	充填量 kg	点検内容	点検結果	漏洩・故障原因	漏洩・故障箇所 (交換部品)	操作
完了	A001	2020-01-17	出庫時初期補充量	20.00						閲覧
			設置時追加補充量	2.00						
			定期点検	0.00	0.00	目視外観点検(システム漏 れ点検)	なし			
完了	A002	2021-06-21	直ちに修理困難な場合はその理由							閲覧 再発行 印刷
			備考							

一覧へ戻る 確認画面へ 一時保存 ページトップ ▲

【1表】

施設管理者情報
機器情報が確認
できます

【2表】

定期点検の内容
を入力します

【3表】

冷媒の充填、回
収状況の記録が
確認できます

【4表】

点検整備記録の
履歴を確認でき
ます

定期点検 ワンポイント

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録

一覽画面に1表の履歴冷媒と相違するとエラーとなります。
一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した場合は「戻し充填量」に、新たな冷媒を充填した場合は「追加充填量」に記入して下さい。
「戻し・再生・保管量」は「回収量」から「戻し充填量」を引いた差で、自動計算されます。追加冷媒が以前に追加された冷媒と同等と見なされ、処理履歴が自動作成されます。(備考)
※定期点検や整備後点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」としてください。
※定期点検で漏洩点検も兼ねる際は、漏洩点検記録も記入して下さい。記入しない次回記録が表示されません。

作業年月日 入力日の日付を記入	点検・整備区分 設置時追加充填量	充填冷媒	回収量 kg	戻し充填 量 kg	追加充填 量 kg
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容	直ちに修理困難な場合はその理由	修理予定日	
備考					
作業請負者社名 ジェイコ充填回収 東京都	所在地 〒103-0000 東京都中央区虹橋7-7				

※設置時追加充填量から区分が変更できない場合は、まだ初期登録が完了していない状態なので、先に入力処理をすませましょう

2

簡易点検を登録しますか？
日付の入力を確認してください。「OK」ボタンを押すと、変更・取り消しは出来ません。
「OK」ボタンを押すことにより、〇〇〇(管理者名) に対して、簡易点検記録の入力が登録されたことを通知します。

OK キャンセル

整備記録を登録後、管理者へ承諾依頼の通知が送付されます

3

作業請負者
承諾依頼

管理者 (代行)

管理者でログインし、ログブッカー一覧から
承諾行為を行いましょう

管理者承諾:

7. 行程管理票起票(機器の廃棄)① 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票を起票します

第一種特定製品の廃棄者(管理者)は機器を廃棄する場合、行程管理票を起票しますが、代行の場合には管理者の代わりに、充填回収業者で行程管理票を起票します

廃棄者代行として廃棄者でログインしても起票できますが、ここでは充填回収業者で起票した流れをご説明いたします

1

事業者コード: R×××××××(Rで始まる9桁)
ログインID: ×××××
パスワード: ×××××

登録した充填回収業者でログイン

2

ログインID
パスワード
ログイン

ID・パスワードを入力してログイン

3

機器の廃棄時 事前確認結果説明書の閲覧、行程管理票の作成、交付・送付、閲覧、再発行、破棄、引取返

事前確認結果説明書
建築物等の全部又は一部の解体工事
(第一種特定製品設置の有無の確認)
事前確認結果説明書一覧

行程管理票(含む確認証明書)
機器廃棄時の汚濁排水の回収
行程管理票一覧
行程管理票作成

メイン画面から行程管理票作成を選択

4

作成方法

作成方法を選択してください。

- ・電子モードとは、
廃棄者や取次者、回収業者等の関係者で、それぞれに担当する情報を入力した伝票を
電子メールで送・受信して作成します。
承諾が必要な場合は、電子メールで送った伝票にサインして返信するといった方法で確認を行います。
- ・「紙モード」とは、
関係者にインターネットが使用出来ない方がある場合などに、従来の紙(複写機)で行程管理票を
作成するのと同じ要領で作成します。
最初は、JRECのホームページに入力して起票していただきますが、その後は印刷出力した紙を
渡し承諾を得て作成を進めます。
なお、回収業者に係る汚濁排水量などのデータは、サーバーで保存・管理されます。
起票する際に同じ管理者・廃棄者を入力する場合は、「履歴から選択」をご利用ください。

電子モード 紙モード

電子モードか紙モードかを選択します

- ・電子モード・・・他の業者がRaMS利用
- ・紙モード・・・他の業者がRaMS未利用

※ここでは廃棄者も管理代行としてRaMSを利用している為、電子モードを選択します。

5

伝票番号
交付年月日
入力日の日付を記入

回収依頼書
(※フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

- 廃棄者
● 機器管理番号
● 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
● 確認したフロン類が充填されている場合、回収すること

● 履歴から選択
● 事業者コードから選択
● 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
● 確認したフロン類が充填されている場合、回収すること

機器所有者等の氏名又は名称
上記の住所
系統名
担当責任者
この項目は廃棄機器所有者に記入してください
電話番号
FAX番号
廃棄する機器の種類及び台数
エアコンディショナー
冷凍機及び冷凍機
フロン類の引渡し先
フロン類の処理方法

廃棄する機器のある又はあった施設(建物)名
上記の住所
建物階層(含む修繕・修繕替え)の有無
○ 解体(修繕等済) ● 解体(修繕等済)
○ 取次者に委託する
● 再生希望 ○ 再生・破壊のどちらでも良い ○ 破壊希望

■第一種フロン類充填回収業者

第一種フロン類充填回収業者登録番号
tokyo012345
登録都道府県
東京都
フロン類(取りの終了又は充填ゼロの確認)した年月日
引取証明書又は確認証明書の交付年月日
第一種フロン類充填回収業者の氏名
ジェエルコ充填回収 東京都
回収技術者氏名
上記の住所
〒103-0000 住所(東京都中央区)住所
住所2-7
担当責任者
部署名
氏名
電話番号
03-0022-0011
FAX番号
03-0022-0012

廃棄者に代わりA票を起票します。(代行起票)

7. 行程管理票起票(機器の廃棄)② 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票 A票の起票

A票

伝票番号 交付年月日 入力日の日付を記入

回収依頼書
(兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

● 廃棄 ○ 機器整備/修理
…機器整備/修理に伴う廃棄回収の際は、「廃棄」ではなく「機器整備/修理」を選択します

● 確認証明書(フロン類が充填されていないことの確認)
…但し、確認してフロン類が充填していた場合、回収すること

○ 機器管理番号 -
ラジオボタンは再度クリックするとチェックが外れます。
フロン機器の番号は入力できません。

○ ログブック一覧から機器を選択

機器所有者等の氏名又は名称*

上記の住所* 住所1 住所2 住所検索

系統名

担当者 部署名 氏名

電話番号 FAX番号

廃棄する機器の種類及び台数* 建物解体(含む修繕・模様替え)の有無*

エアコンディショナー 台 ○ 解体(修繕等)あり ● 解体(修繕等)なし

冷蔵庫及び冷凍機器 台

フロン類の引渡し先* ● 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する ○ 取次者に委託する

フロン類の処理方法 ● 再生希望 ○ 再生・破壊のどちらでも良い ○ 破壊希望

■第一種フロン類充填回収業者

第一種フロン類充填回収業者登録番号	tokyo012345	登録都道府県	東京都
フロン類引取りの終了又は充填ゼロの確認をした年月日		引取証明書又は確認証明書の交付年月日	
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称*	回収業者を選択してください ジェレコ充填回収 東京都	回収技術者氏名	
上記の住所*	〒103-0000 住所1 東京都中央区虹橋 住所2 7-7		
担当者	部署名 <input type="text"/> 氏名 <input type="text"/>		
電話番号	03-0022-0011 FAX番号 03-0022-0012		

A票の内容を順番に起票していきます

- 1 廃棄者を選択します ※初回は廃棄者(管理者)の事業者コード(H+9桁)を選択し入力
- 2 「ログブック一覧から機器を選択」し、廃棄する該当機器にチェックを入れます(複数選択可)
※管理者で機器登録をした場合は、該当機器の機器管理番号をメモし、「機器管理番号」を選択

No	機器管理番号	施設管理者 施設名	系統名 製品分類	製品施設 都道府県	設備製造者	製造番号 形式	使用冷媒 製造用途	1件~30件(合計:49件)	廃棄 対象	操作
1	VLWN-WFTZ-Y6BF	日本ラムズ 東京(管理1) ロイヤルリノス(倶楽部)	shop10系統 冷凍冷蔵ユニット	東京都	ポーラー電機	PEM10S2000214 PEMSS10RVC	R22 冷凍用・プロセス冷却用		<input type="checkbox"/>	閲覧
2	975F-LYE5-SOHZ	日本ラムズ 東京(管理1) 芝パークスクエア	コントロールセンター ビル用パッケージエアコン	東京都	DKNC	aaakshg08450145 DKNPAC24isk3	R22 空調用		<input type="checkbox"/>	閲覧
3	ST4R-7N2C-PNKF	日本ラムズ 東京(管理1) 日本ラムズ・イノベーション	化学製品製造ライン スクリーン冷凍機	東京都	パナダイヤ	592149	R22 冷凍用・プロセス冷却用		<input type="checkbox"/>	閲覧

- 3 ※の必須入力箇所を全て入力し、確認ボタンを押して確定させます
- 4 起票者に課金されるメッセージ確認後、廃棄者(代行)へ回収依頼書が送付されます

dev.jreco.jp の内容

ポイント消費が行われます。
新規登録: 110ポイント

廃棄者 に対して、回収依頼書を送付しますか?

日付の入力を確認してください。「OK」ボタンを押すと、変更・取り消しは出来ません。

※機器が選択されています。E票交付後に該当の機器のログブックが閉鎖されますがよろしいでしょうか。

OK キャンセル

なお、E票交付後に該当機器のログブックが閉鎖処理されます

- 5 廃棄者(代行)としてログインし、担当者責任者の欄に記入をして承諾をします

担当者責任者
この項目は
必須項目です

部署名* 氏名*

部署名と氏名、交付日を記入し、下部の「確認画面へ」をクリックして確認画面へ進み、下部の「交付」ボタンをクリックすれば承諾完了です。

モード 状態

通常 承認待ちのA票

充填回収業者の行程管理票一覧の
状態は承認待ちのA票となります



廃棄者
(代行)

7. 行程管理票起票(機器の廃棄)③ 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票 E票の記入

E票

伝票番号 A00067478
交付年月日 2024-07-01

回収依頼書
(兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼)

■廃棄する機器の所有者等

廃棄

機器所有者等の氏名又は名称	日本ラムス 東京(管理1)	廃棄する機器がある又はあった施設(建物)名	大門ビッグゲートビル
上記の住所	〒106-0011 東京都港区芝公園1-11	上記の住所	〒106-0012 東京都港区芝公園11-22-33
系統名	ショールーム		
担当者	部署名 企画部	氏名 鈴木	
電話番号	11-1111-1113	FAX番号	11-1111-1114
廃棄する機器の種類及び台数	エアコンディショナー 1台 冷蔵庫及び冷凍機器 0台	建物解体(含む修繕・模様替え)の有無	解体(修繕等)なし
フロン類の引渡し先	第一種フロン類充填回収業者へ直接依頼する		
フロン類の処理方法	再生希望		

■第一種フロン類充填回収業者

2

第一種フロン類充填回収業者登録番号	tokyo012345	登録都道府県	東京都
フロン類引取りの終了又は充填ゼロの確認をした年月日*	----- -- -- -- 入力日の日付を記入	引取証明書又は確認証明書の交付年月日*	----- -- -- -- 入力日の日付を記入
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称*	ジェイレコ充填回収 東京都	回収技術者氏名*	
上記の住所*	〒103-0000 住所1 東京都中央区虹橋	住所2*	住所27-7
担当者*	部署名*	氏名*	
電話番号	03-0022-0011	FAX番号	03-0022-0012

■回収量等

3

フロン類回収量* フロン類回収量(フロン類回収量の詳細の入力はここから)

下記のとおりフロン類を回収しました。

管理番号:

	OFC		HCFC		HFC		計	
	台	kg	台	kg	台	kg	台	kg
エアコンディショナー								
冷蔵庫及び冷凍機器								
計								
銘板に記載されている充填量								
フロン類が回収できなかった場合の台数及び要因	台	要因						

■コメント欄 ...コメント内容を書きたい場合は、上書きしないよう追加して記載してください

E票の内容を順番に起票していきます

1 廃棄者(代行)から回収依頼書 兼 確認依頼(A票)が交付されます

モード 状態

通常 充填回収業者へ依頼済/回収作業中

廃棄者の行程管理票一覧の状態は充填回収業者へ依頼済/回収作業中となります

2 充填回収業者でログインし、回収依頼書 兼 フロン類が充填されていないことの確認依頼(E票)の内容を確認の上、回収作業日、またはフロン類が充填されていないことを確認した日付を入力後、交付年月日を記入してください

フロン類引取りの終了又は充填ゼロの確認をした年月日* 入力日の日付を記入

引取証明書又は確認証明書の交付年月日* 入力日の日付を記入

3 フロン類回収量の詳細を入力いたします

■回収量等

フロン類回収量* フロン類回収量(フロン類回収量の詳細の入力はここから)

下記のとおりフロン類を回収しました。

機器管理番号	特定製品の種類	R番	フロン の種類	台数	回収量 (kg)*	系統名	メーカー	型番	初期 総充填量(kg)	排出量(kg)	要因
HGX3-PY26-CPTD	エアコンディショナー	R410A	HFC	1		ショールーム	TD電機	TDPACMMC24	11.10	11.10	経年劣化 機器不良 その他

回収したフロン量を入力します。無い場合は0を記入してください

4 ※の必須入力箇所を全て入力し、確認ボタンを押して確定させます

担当者 部署名* 回収技術者氏名* 氏名*

回収技術者氏名・担当責任者の部署・氏名の入力し、下部の「確認画面へ」をクリックして確認画面へ進み、下部の「交付」ボタンをクリックすればE票が廃棄者(代行)へ交付されます。

5 廃棄者(代行)・充填回収業者ともに行程管理票一覧は引取証明書交付済/処理業者へ渡す前と変化します

モード 状態

通常 引取証明書交付済/処理業者へ渡す前

7. 行程管理票起票(機器の廃棄)④ 【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. 機器の廃棄時、行程管理票 F票の記入

回収フロン処理証明書(処理の記録)

■回収冷媒等*

フロン種類の内訳			
R	回収量(kg)	回収容器番号	区分
R22	2.00	AAA	破壊再生 省令49条 自ら再生 保管

■処理方法及び処理量

	GFC(kg)	HCFC(kg)	HFC(kg)	計(kg)
1:50条ただし書き再生				
2:破壊				
3:再生				
4:省令49条業者認定管理センター				
5:保管				

F票の内容 回収した冷媒の処理方法を決めていきます

- 1 充填回収業者が冷媒の回収作業を終えると行程管理票一覧は引取証明書交付済/処理業者へ渡す前と変化しています

モード	状態
通常	充填回収業者へ依頼済/回収作業中
通常	引取証明書交付済/処理業者へ渡す前

- 2 F票が発行されていますので、回収容器番号を入力します

フロン種類の内訳		
R	回収量(kg)	回収容器番号
R22	2.00	

- 3 区分を選択し、確認画面で確認後、処理が確定いたします

区分
破壊
再生
省令49条
自ら再生
保管

※保管を選択すると、回収した冷媒を処理に回さず、一時的に保管となりますので、再修正を行えば再度区分を選択できます

8. 行程管理票(処理業者)【充填回収業者】

◆管理業務代行の流れ(イメージ)

1. RaMSでは機器廃棄時、行程管理票を電子でやり取りすることができます。

再生・破壊・省令49業者などもRaMSを利用している場合は、個々の事業者コードを取り交わし、RaMS上で行程管理票のやりとりができます。

※RaMSを利用していな場合は、RaMSの画面から印刷を行い、その後の処理は紙となります。

1	A00050608	通常	F票まで完了 処理票あり	2022-12-06
2	A00050607	通常	F票まで完了 処理票あり	2022-12-06

ログブック一覧ではF票まで完了、処理票ありと表示で終了となります

一覧へ メインメニューに戻る

Z票 F票 E票 A票 ログブック



F票

伝票番号 A00050570
交付年月日 2022-12-05

引 取 証 明 書 (写)

■廃棄する機器の所有者等

廃棄

機器所有者等の氏名又は名称	日本ラムズ 東京(管理1)	廃棄する機器がある又はあった施設(建物)名	内幸町ラムズ
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園111	上記の住所	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1111
系統名	7F North		
担当責任者	部署名 総務部	氏名 山田 太郎	
電話番号	11-1111-1113	FAX番号	11-1111-1114
廃棄する機器の種類及び台数	建物解体(含む修繕・模様替え)の有無		
エアコンディショナー 1台	解体(修繕等)なし		
冷蔵庫及び冷凍機器 0台			
フロン類の引渡し先	第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する		
フロン類の処理方法	再生希望		

Z票	伝票番号 A00050570-E001 再生業者送付年月日 2022-12-05		
再 生 証 明 書			
■廃棄する機器の所有者等			
廃棄			
機器所有者等の氏名又は名称	日本ラムズ 東京(管理1)	廃棄する機器がある又はあった施設(建物)名	内幸町ラムズ
上記の住所	〒105-0011 東京都港区芝公園111	上記の住所	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1111
系統名	7F North		
担当責任者	部署名 総務部	氏名 山田 太郎	
電話番号	11-1111-1113	FAX番号	11-1111-1114
■第一種フロン類充填回収業者			
第一種フロン類充填回収業者登録番号	tokyo012345	登録都道府県	東京都
フロン類引渡りの終了又は充填ゼロの確認後1年5月日	2022-12-05	引取証明書又は確認証明書の交付年月日	2022-12-05
第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称	ジェイレコ充填回収	回収技術者氏名	池田
上記の住所	〒100-0000 東京都中央区虹橋7-7		
担当責任者	部署名 回収	氏名 佐藤	
電話番号	03-0022-0011	FAX番号	03-0022-0012

再生業者のZ票

充填回収業者の回収後の処理によって、破壊や再生業者の行程管理票が行程管理票一覧に追加されていきます